令和６年度

履修証明プログラム

「学校教育キャッチアップ講座」募集要項
（第３期・第４期）

鹿 児 島 大 学

「学校教育キャッチアップ講座」募集要項

Ⅰ．はじめに

鹿児島大学では平成21年から令和3年の13年間、教員免許更新制に基づく教員免許状更新講習を実施し、延べ約67,000名の修了生を輩出してきました。教員免許更新制が令和4年7月1日から発展的に解消されたことに伴い、令和5年度から「学校教育キャッチアップ講座」として、教員研修事業を継続して実施いたします。

本講座は潜在教員や再任用教員等の方々が、学校教育の最新動向を吸収し教職の基本を再確認して、自信をもって教壇に立つことができるように、鹿児島大学教職大学院・教育学部・附属学校の教員が講師を務めて展開していきます。具体的には、「教育の最新事情と基盤」、「特別活動・総合的な学習の時間」、「家庭・地域との連携・協働」、「発達心理と生徒指導・教育相談」、「進路指導・キャリア教育」、「教育の情報化」、「国際理解・異文化理解」、「道徳教育」、「特別支援教育」、「教科指導の最新事情」の10科目について、計60時間の講習を実践的かつ体系的に学んでいただきます。また、「履修証明制度」のもと修了者に履修証明書を交付し、プログラムの内容と質を保証します。

本募集要項では、本講座の受講生を以下の要領で募集します。

Ⅱ．募集について

1．募 集 人 員

第３期（令和6年6月1日～令和6年8月31日）40名

第４期（令和6年10月5日～令和7年2月1日）40名

※定員を超える応募があった場合は書類選考を行います。

2．受講対象者

以下の①または②に該当する方を受講対象とします。

①教員免許（小学校・中学校）保持者

②鹿児島県教育委員会「かごしまの先生スタートプログラム」(照会先は県教育庁教職員課 Tel 099-286-5256）へ応募し、推薦を受けた者

3．受講料

60,000円

※入構車両パスカードの購入を希望される場合、別途実費負担となります（R5年度実績4か月分4,900円；鹿児島大学交通規則に基づく審査を経て入構証及びパスカードを発行します)。　※受講料等、お支払後の返金は一切致しかねますのでご了承ください。

４．会場と受講方法

会場は、鹿児島大学（郡元キャンパス）教育学部の教室を予定しています。

受講方法は、対面式講習を基本とし、新型コロナウイルス感染対策に十分に配慮した上でプログラムを実施します。

５．ロイロノートの使用

講習資料の受け取りやレポート（ふりかえり課題・代替課題）の提出等は、授業支援アプリ「ロイロノート」を用いて行います（予定）。操作方法は、各期の初日に説明いたします。

Ⅲ．申込手続き

鹿児島県教育委員会「かごしまの先生スタートプログラム」の推薦を受けた方（１ページの受講対象者②の方）は、別途、鹿児島県教育委員会の案内にしたがってください（3 月下旬鹿児島県 HP で公開予定）。それ以外の方は、以下１～４の内容で手続きをしてください。

１．募集期間

〇第３期：令和６年４月１日（月）～令和６年４月 23 日（火）当日消印有効

〇第４期：令和６年８月５日（月）～令和６年８月 27 日（火）当日消印有効

２．申込方法

（１）申込書類の入手方法

受講申込書（様式１）は、本募集要項の５ページにあります。

宛名ラベルは、本募集要項の６ページにあります。

なお、本講座の専用ウェブページからもダウンロードできます。

https:// www.life.kagoshima-u.ac.jp/rena/

（２）申込書類及び提出方法

「受講申込書（様式１）」と「宛名ラベル」を郵送してください。

３．第３期申込書類の提出先（第４期については後日お知らせ予定）

〒890-0065　鹿児島市郡元１－20－6

「学校教育キャッチアップ講座」宛

鹿児島大学教育学部

管理棟・理系研究棟１階

（地図：https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html#01）【建物Ａ－７４】

４．申込上の留意事項

（１）申込みについては、郵送に限ります。

（２）封筒の表に「学校教育キャッチアップ講座受講申請書在中」と**朱書**してください。

（３）申請書類の不備な物は受け付けられませんので、記載には十分ご留意ください。

５．受講者の決定方法

受講者の選抜は、受講資格を満たしているか確認のうえ決定します。定員を超える応募があった場合は書類選考を行います。

６．受講者の決定通知

各期第１回目の 20 日前頃までに本人へ通知（文書発送）します。なお、１ページの受講対象者②の方は、県教育委員会から別途通知します。

７．受講料の納入

６の通知の指示により、指定期日までに受講料を納入してください。

Ⅳ．カリキュラム・修了要件

１．開講期間

〇第３期　令和６年６月１日（土）～令和６年８月 31 日（土）

〇第４期　令和６年 10 月５日（土）～令和７年２月１日（土）

２．講習科目と内容・日程

本募集要項 7～13 ページの「講義概要」をご覧ください。

３．修了要件

総時間数 60 時間の講習全てに出席して、各科目で設定されたレポート（ふりかえり課題）を全て提出し、合格と判断されることが修了要件となります（鹿児島大学の特別の課程における履修証明プログラム関する規則に準じる）。なお、欠席された場合には、各科目講師が指定する代替課題を適切に提出すれば（但し総時間数の３分の１を上限とします）、出席と認めます。

Ⅴ．実施体制

実施部局　：　教師教育開発センター（R6.4.1 発足）
実施責任者：　有倉　巳幸（教授）
実施代表者：　黒光　貴峰（准教授）、宮﨑　幸樹（准教授）
担当講師　：　小屋敷　浩昭（教授）、岩本　伸一（教授）、関山　徹（准教授）、
髙谷　哲也（准教授）、廣瀬　真琴（准教授）、髙瀬　和也（助教）ほか

Ⅵ．その他

１．修了証明について

定められた修了要件を満たした受講者には、履修証明制度のもと、「履修証明書」を交付します（後日郵送）。

２．単位の授与の有無について

本講座修了者への単位の授与はありません。

３．個人情報の取り扱いについて

申込に際し、ご記入いただいた個人情報は、受講申込の確認、連絡、名簿作成、受講者の統計以外の目的に使用いたしません（本人の了承を得た県教育委員会への情報提供も含む）。

４．第３期問い合わせ先（第４期については後日お知らせ予定）

＜手続きに関すること＞教育学部学生係
電話：099-285-7714　　Fax：099-285-7735
E-mail：catch-up@kuas.kagoshima-u.ac.jp
地図：https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html#01

＜講義に関すること＞
教育学部　黒光　電話：099-285-7907
E-mail： kuromitu@edu.kagoshima-u.ac.jp
教職大学院　宮﨑　電話：099-285-7928
E-mail： k-miyazaki@edu.kagoshima-u.ac.jp

受付時間：9 時～17 時（※土日・祝祭日の受付は行いませんのでご注意ください。）

［様式 1］

受　付　番　号 ※事務局記載	

令和＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

令和６年度「学校教育キャッチアップ講座」受講申込書

（ふりがな） 氏　名		生年 月日	（和暦）S・H・R ＿＿＿年＿＿月＿＿日生 満＿＿＿歳（R6.4.1 現在）
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	電子メール		
緊急 連絡先	氏名		
	続柄		
	電話番号		
保有免許状 （校種・教科等）		※免許状の写しを添付してください	

年	月	日	教職歴（勤務校等）

県教育委員会への情報提供	［　　］可　［　　］不可 ※該当するほうに〇印を記入してください
入構車両パスカードの 購入希望	［　　］有　［　　］無 ※該当するほうに〇印を記入してください

※電子メールは、日常的に使用する緊急の連絡等が可能なメールアドレスをご記載ください。

※車での通学（本学への入構）を希望される場合は別途実費負担となります（鹿児島大学交通規則に基づく審査を経て、入構許可証及びパスカードを発行します）。

※申込書類等に記入していただいた個人情報は、受講申込の確認、連絡、名簿作成、受講者の統計以外の目的には使用いたしません（本人の了承を得た県教育委員会への情報提供も含む）。

※

宛名シール（履修証明プログラム関係書類通知用）

【注意事項】 1　※欄は記入しないこと。

2　履修証明プログラム関係書類を受け取る際の郵便番号，住所及び氏名を，ていねいに記入すること。

（住所）　□□□□□□□

（氏名）

様

※

（住所）　□□□□□□□

（氏名）　鹿児島大学

（電話）

品名：　**履修証明プログラム関係書類**

講義概要（令和6年度）

◆【第3期】の科目・テーマと実施日程

※1時限（9:00～10:30）、2時限（10:45～12:15）、3時限（13:15～14:45）、4時限（15:00～16:30）
（但し、初回と最終回は開講式・閉講式を行うため17時終了となり、各時限の時間帯も変則的になります）
※開講式：6月1日（土）9:00　、閉講式：8月31日（土）４限終了後
※各科目・テーマを実施する日付・時限は変更する場合があります

科目名	テーマ	時間	実施の日付・時限（予定）
①教育の最新事情と基盤	制度改革の動向と教育公務員としての服務	1.5	8月24日 （土） 3 限
	人権教育の深化	1.5	8月31日 （土） 3 限
	学力・授業のあり方の変容	3.0	8月 3日 （土） 1,2 限
	教師の成長・やりがいにみられる特徴と課題	3.0	6月22日 （土） 3,4 限
	保健指導の強化	1.5	7月 6日 （土） 4 限
	組織的対応の重要性と安全管理・危機管理	1.5	8月31日 （土） 2 限
②特別活動・総合的な学習の時間	特別活動・総合的な学習の時間	1.5	8月24日 （土） 4 限
③家庭・地域との連携・協働	家庭・地域との連携・協働	1.5	7月 6日 （土） 2 限
④発達心理と生徒指導・教育相談	発達心理	1.5	8月31日 （土） 1 限
	学校カウンセリング	1.5	6月 1日 （土） 2 限
	いじめへの対応	3.0	8月24日 （土） 1,2 限
	不登校への対応	3.0	6月22日 （土） 1,2 限
	学級経営	1.5	6月 1日 （土） 1 限
⑤進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育	1.5	8月31日 （土） 4 限
⑥教育の情報化	教育の情報化：概論	6.0	6月29日 （土） 1,2,3,4 限
	教育の情報化：授業づくり	3.0	小：7月20日 （土） 3,4 限
		3.0	中：8月 3日 （土） 3,4 限
⑦国際理解・異文化理解	国際理解・異文化理解	1.5	7月 6日 （土） 1 限
⑧道徳教育	道徳教育	1.5	7月 6日 （土） 3 限
⑨特別支援教育	特別支援教育：概論	3.0	6月 1日 （土） 3,4 限
	特別支援教育：授業づくり（校種ごとに実施）	3.0	7月20日 （土） 1,2 限
⑩教科指導の最新事情	教科指導の最新事情：概論	3.0	小：8月17日 （土） 1,2,3,4 限
		3.0	中：7月27日 （土） 1,2,3,4 限
	教科指導の最新事情：授業づくり	3.0	小：7月27日 （土） 1,2,3,4 限
		3.0	中：8月17日 （土） 1,2,3,4 限

講義概要（令和6年度）

◆【第4期】の科目・テーマと実施日程

※1時限（9:00～10:30）、2時限（10:45～12:15）、3時限（13:15～14:45）、4時限（15:00～16:30）
（但し、初回と最終回は開講式・閉講式を行うため17時終了となり、各時限の時間帯も変則的になります）
※開講式：10月5日（土）9:00　、閉講式：2月1日（土）４限終了後
※各科目・テーマを実施する日付・時限は変更する場合があります

科目名	テーマ	時間	実施の日付・時限（予定）
①教育の最新事情と基盤	制度改革の動向と教育公務員としての服務	1.5	12月 7日 （土） 1 限
	人権教育の深化	1.5	12月 7日 （土） 2 限
	学力・授業のあり方の変容	3.0	1月25日 （土） 1,2 限
	教師の成長・やりがいにみられる特徴と課題	3.0	10月20日 （土） 1,2 限
	保健指導の強化	1.5	12月 7日 （土） 4 限
	組織的対応の重要性と安全管理・危機管理	1.5	12月21日 （土） 3 限
②特別活動・総合的な学習の時間	特別活動・総合的な学習の時間	1.5	12月21日 （土） 4 限
③家庭・地域との連携・協働	家庭・地域との連携・協働	1.5	1月25日 （土） 4 限
④発達心理と生徒指導・教育相談	発達心理	1.5	1月26日 （土） 3 限
	学校カウンセリング	1.5	10月 5日 （土） 2 限
	いじめへの対応	3.0	２月 1日 （土） 1,2 限
	不登校への対応	3.0	11月23日 （土） 1,2 限
	学級経営	1.5	10月 5日 （土） 1 限
⑤進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育	1.5	２月 1日 （土） 4 限
⑥教育の情報化	教育の情報化：概論	6.0	11月30日 （土） 1,2,3,4 限
	教育の情報化：授業づくり	3.0	小：10月20日 （土） 3,4 限
		3.0	中：10月 5日 （土） 3,4 限
⑦国際理解・異文化理解	国際理解・異文化理解	1.5	２月 1日 （土） 3 限
⑧道徳教育	道徳教育	1.5	12月 7日 （土） 3 限
⑨特別支援教育	特別支援教育：概論	3.0	12月21日 （土） 1,2 限
	特別支援教育：授業づくり（校種ごとに実施）	3.0	11月23日 （土） 1,2 限
⑩教科指導の最新事情	教科指導の最新事情：概論	3.0	小：10月26日 （土） 1,2,3,4 限
		3.0	中：11月 2日 （土） 1,2,3,4 限
	教科指導の最新事情：授業づくり	3.0	小：11月 2日 （土） 1,2,3,4 限
		3.0	中：10月26日 （土） 1,2,3,4 限

◆各科目の概要◆

①教育の最新事情と基盤

学習指導要領の改訂をはじめとする学校教育の最新事情について理解し、教職に関わる基本事項について再確認した上で、今後の教育実践にむけての大局的な視点をもつことを目的とします。具体的には、制度改革の動向、服務規律、人権教育、カリキュラムマネジメント、アクティブラーニング、教師の成長・やりがい、保健指導（新型コロナ対応・アレルギー・食育等）、組織的対応、安全管理・危機管理について取り上げていきます。

②特別活動・総合的な学習の時間

特別活動および総合的な学習の時間の意義や特色を確認し、それらの実践をデザインする方法について理解を深めることを目的とします。実践事例等を取り上げながら、学習指導要領との対応関係に留意して学びを深めていきます。

③家庭・地域との連携・協働

教育基本法の改正とともに新たに第 13 条（学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする）が制定されました。その趣旨について理解を深めることを目的としつつ、その実践の仕方について実践事例等を通じて学んでいきます。

④発達心理と生徒指導・教育相談

子どもの発達過程と近年の子どもの育ちの現状を踏まえながら、多角的・効果的に児童生徒を理解・支援して学級経営を行うための理論と方法を学ぶことを目的とします。令和 4 年 12 月に改訂された「生徒指導提要」の柱である発達支持的生徒指導やチーム支援の観点に留意しながら、発達心理、いじめ・不登校への対応、学級経営、学校カウンセリング（子ども・保護者・教師との共感的・受容的な関わり）について取り上げていきます。

⑤進路指導・キャリア教育

最近のキャリア発達理論の考え方を通して、進路指導・キャリア教育をどのように進めていくかについての理解を深めることを目的とします。演習等を交えながら、生きる意味や働く意味を問い直すための自己理解、意思決定、目標設定・行動の実際等の契機について取り上げていきます。

⑥教育の情報化

学習指導要領等の動向を踏まえつつ、ICT を活用した授業改善等（プログラミングや情報モラルを含む）に関する理解を深めることを目的とします。タブレット型情報端末や学習支援ソフト（ロイロノート）を用いた授業づくり（演習）や活用事例の分析等を通じて、実践的に学んでいきます。

⑦国際理解・異文化理解

国際理解や異文化理解に関する教育が必要とされてきた背景・現状と理念について知り、その実践方法について理解することを目的とします。基本事項を再確認するとともに、実践事例等を紹介しながら、そのねらいや成果、課題について分析していきます。

⑧道徳教育

これまでの道徳教育が「特別な教科としての道徳」として位置づけ直されたことを踏まえ、その指導のあり方についての理解を深めることを目的とします。内容としては、多様で効果的な指導方法への改善方策や、子どもたち 1 人ひとりの良さを伸ばして成長を促す授業のあり方について取り上げていきます。

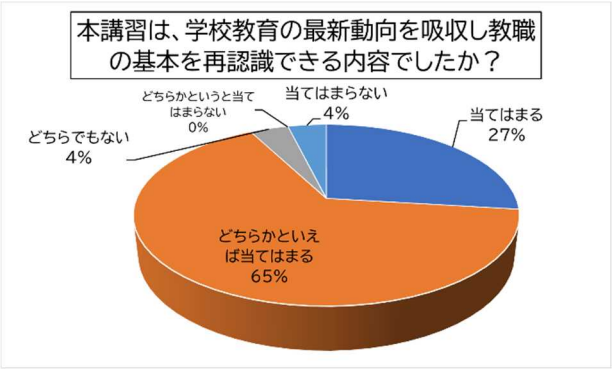
⑨特別支援教育

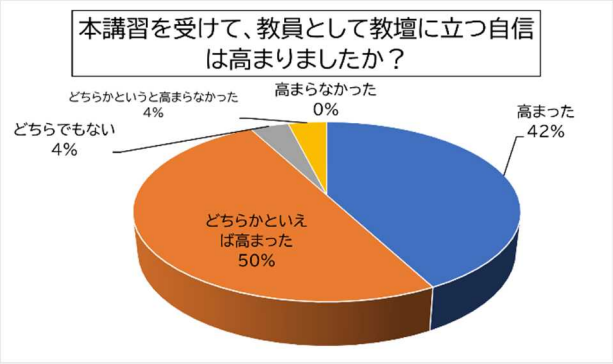
特別支援教育の最新事情について知るとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた、また、子どもが主体となって学習に参加する授業づくりや、そのための授業研究・事例研究の方法等について理解を深めることを目的とします。基本事項を踏まえた上で、校種別(小学校・中学校)に学んでいきます。

⑩教科指導の最新事情

学習指導要領の趣旨を的確に理解して、それを授業づくりに活かせるようになることを目的とします。内容としては、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育んでいく方法について、その理論的枠組みを理解するとともに、校種別(小学校・中学校)に指導案づくり等を通じて学んでいきます。また、小学校教員を目指す方々には、小学校英語教育についても取り上げます。

◆受講者の声◆ (R5 1･2期 全 26 名)





- □ 内容が興味深く、毎回の受講が楽しみだった。実際の学校現場に携わる際に必要な知識が体系的に学べた事が良かった。
- □ 学ぶことの楽しさを久しぶりに感じることができた。教員を目指す先生方との時間で、それぞれの先生方の良さや考え方など語り合うことができ、今後の生き方について前向きに考える機会となった。
- □ 教員免許を取得してから、何十年も経ってしまった自分でも、今の現場の様子がとてもよく分かり、期限付き教諭や教採にチャレンジする勇気をもらった。
- □ この 6 ヶ月間、とても貴重で学びの多い日々となった。もう学校で働くことはないだろうなと思っていたが、講義を通してまたチャレンジしてみたい気持ちが芽生えた。